

「伝書鳩いろは」 第1巻1号

井原市・県立井原高 文藝部



岡山県立井原高等学校
文藝部責任編集
発行人 大月 悠愛

題字に寄せて

新題名は、井原高校の庭に立つイロハモミジの「いろは」と、どこか懐かしさを感じる「伝書鳩」を組み合わせました。また、背景には井原市特産のデニムの原材料である棉花を描き込みました。左側には井原高校でスコットキヤクワター「ワタ坊」の顔も見えています。

井原高校藍色に染まる



井原高校で地域生活では「地域生活」として授業で「棉花と藍染」

【上掲右】「デニムの日」オープンの前で記念写真を取る部員と3年生。当日のデニム着用率は33.5%。



【下掲右】藍染のハンカチの下で記念撮影をする部員と3年生。当日のデニム着用率は33.5%。



【下掲左】地域生活科でコミュニケーションワークスの活動で作成したデニム地のクワター。



デニムの日の楽しみ方は人それぞれ
実際のデニム着用率は3人に1人

10月24日(金)と25日(土)の2日間、デニムを着用する私服登校が行われました。この企画は10月26日(日)の「デニムの日」に合わせて、先年からの部員の希望や、今年度の行事計画を踏まえ、生徒がデニムを着用し、学校生活を送る機会を創出する目的で開催しました。

井原市は「デニムの聖地」と呼ばれるほどデニム産業で有名です。井原デニムは高い品質性を誇っており、世界的なファッションブランドにも採用されています。

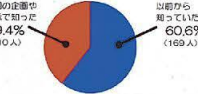
井原市は「デニムの聖地」と呼ばれるほどデニム産業で有名です。井原デニムは高い品質性を誇っており、世界的なファッションブランドにも採用されています。

「デニムの日」が近づくにつれて、校舎下のハンカチが作られた藍染のハンカチが吊るされ、生徒玄関には「デニムの日」のポスターが飾られ、校内は徐々に藍色に染まってきました。

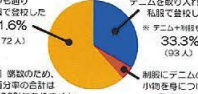
種から育て、収穫したものを加工して活用するという取り組みを行っています。この行事は、「地域生活科」の授業の一環として、地域生活科の生徒が主体となって行われました。

種から育て、収穫したものを加工して活用するという取り組みを行っています。この行事は、「地域生活科」の授業の一環として、地域生活科の生徒が主体となって行われました。

10月26日は「デニムの日」だと知っていましたか？



10月24日(金)はデニムを取り入れた私服で登校しましたか？



【デニムの日アンケート】有効回答数=279人

しかし、多くの取り組みもまだまだ課題が見られます。今後アンテナを高く、約60%の生徒が「デニムの日」を知っているように、地域生活科の授業で、実際にデニムを着用する機会を創出していきたいと考えています。

井原市は「デニムの聖地」と呼ばれるほどデニム産業で有名です。井原デニムは高い品質性を誇っており、世界的なファッションブランドにも採用されています。

井原市は「デニムの聖地」と呼ばれるほどデニム産業で有名です。井原デニムは高い品質性を誇っており、世界的なファッションブランドにも採用されています。

デニムの日

10月24日(金)と25日(土)の2日間、デニムを着用する私服登校が行われました。

10月26日(日)は「デニムの日」として、デニムを着用する私服登校が行われました。

井原冒険記!!

第1回 PetitBear (西江 剛)

地域生活科で、実際にデニムを着用する機会を創出していきたいと考えています。

地域の居場所を作りたい!

西江 剛

地域生活科で、実際にデニムを着用する機会を創出していきたいと考えています。

精研農場つて知ってる? もう一つの井原高校

井原高校には、校舎から約3km離れたところにある精研農場があります。この精研農場は、地域生活科の授業で、実際にデニムを着用する機会を創出していきたいと考えています。

メルハッピー

地域生活科で、実際にデニムを着用する機会を創出していきたいと考えています。

お店に並ぶハン

お店に並ぶハン。お店に並ぶハン。お店に並ぶハン。

お店に並ぶハン

お店に並ぶハン。お店に並ぶハン。お店に並ぶハン。

お店に並ぶハン

お店に並ぶハン。お店に並ぶハン。お店に並ぶハン。

寸評

「デニムの日」に合わせ、地域産業のデニムを着用する私服登校日に焦点を当てた特集に仕上げられています。徐々に藍色に染まる廊下、玄関や当日の様子を写真と文章で紹介。「デニム愛」あふれる紙面になっています。

「デニムの日」に合わせ、地域産業のデニムを着用する私服登校日に焦点を当てた特集に仕上げられています。徐々に藍色に染まる廊下、玄関や当日の様子を写真と文章で紹介。「デニム愛」あふれる紙面になっています。

「デニムの日」に合わせ、地域産業のデニムを着用する私服登校日に焦点を当てた特集に仕上げられています。徐々に藍色に染まる廊下、玄関や当日の様子を写真と文章で紹介。「デニム愛」あふれる紙面になっています。